



ぎょうだ 議会だより



NO.82 (平成26年11月12日 発行)

行田市ふれあい福祉健康まつり
(10月18日(土) 産業文化会館南側芝生広場)

本号の内容

- 市長提出議案……………2～3
- 提出議案とその結果……………4
- 議員提出議案・常任委員会の動き……………5～6
- 市政に対する一般質問……………7～11
- 12月定例会日程表(予定)
- 請願・議会日誌ほか……………12

9月定例会日程

- 9月1日(月) 本会議(開会・会議録署名議員の指名・会期の決定・議案の上程・説明・一部採決)
- 9月3日(水) 本会議(議案の質疑・一般質問)
- 9月4日(木) 本会議(一般質問)
- 9月5日(金) 本会議(一般質問・委員会付託)
- 9月9日(火) 委員会(建設環境・健康福祉)
- 9月10日(水) 委員会(総務文教)
- 9月19日(金) 本会議(各委員長報告・質疑・討論・採決・追加議案の上程・採決・閉会)

9月定例会

「子ども・子育て支援新制度」に伴う 新規条例など23議案を可決・承認・同意・認定



議 場 風 景（9月定例会初日）

9月定例会には、市長提出議案24件が提出され、継続審査とされた1議案を除く23議案を可決・承認・同意・認定としました。

また、議員提出議案2件が提出され、いずれも可決しました。

主な議案の内容は次のとおりです。

市長提出議案

○行田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

（原案可決）

子ども・子育て支援法の制定に伴い、教育・保育施設やその事業者が給付の対象となることについて、市が運営に関する基準に基づき確認することとなったため、新たに条例を制定するものである。

質疑 認定こども園とは何か。
答 認定こども園は、教育と保育を一体的に行う施設で、現行制度における幼稚園と保育所の機能をあわせ持つ施設であり、認定こども園に移行することにより、児童や保護者の子育て環境の向上が図られる。

質疑 新制度移行に伴う保護者への説明について。
答 保護者を含む市民向けに市報や市ホームページ、保育所の入所案内などを通じ、周知を図っていく。

○行田市家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例（原案可決）

新たに市の認可事業とされ

る地域型保育事業（原則として満3歳未満の保育を必要とする乳幼児が対象）の設備及び運営に関する基準について、地域性等を踏まえ、新たに条例を制定するものである。

基準の主なものとして、家庭の保育事業における保育時間、保護者の勤務状況等を考慮し、国の基準である「原則8時間（を原則9時間）」に、また、事業所内保育事業における施設では、乳児室の面積要件を1人につき3・3㎡以上とするものである。

質疑 これらの施設の実施で市民ニーズにどう応えられるのか。また、待機児童の解消になるのか。
答 保護者の保育に対するニーズは多様化しており、認可外保育施設は保護者の生活スタイルや保育ニーズに即した選択肢の一つであると認識している。また、本市に待機児童はいないが、比較的不足が見込まれる低年齢児の受け入れ態勢における量的拡充が図れるものと考えている。

質疑 家庭の保育事業と小規模保育事業の実施見込みは。
答 事業所内保育施設を含め、いわゆる認可外保育施設は、現在市内に8施設あり、本年4月1日現在で90名の保育を実施している。市としては、保育需要の増大に機動的に対応できるよう、これらの施設が新制度における給付の対象となる施設への移行について積極的な支援をしていく。

○行田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（原案可決）

市内で実施される学童保育の質の確保及び向上を図るため、事業者があらかじめ必要事項を市に届け出て学童保育を実施することが可能となったことから、その基準について、地域性等を踏まえ、新たに条例を制定するものである。基準の主なものとして、開



東学童保育室

所時間は、①小学校の授業の休業日は、1日につき10時間、②小学校の授業の休業日以外の日は、1日につき5時間とするものである。

質疑 事故発生時の対応は定められているのか。

答 現在、市内すべての学童保育室については、傷害保険等に加えており、事故の発生に備えて対応していることから、同様に国の基準を準用し、保険への加入がなされるものと考えている。

○行田市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例 (原案可決)

埼玉県重度心身障害者医療費支給事業の制度変更等に伴い、新たに精神障害者保健福祉手帳1級所持者を対象者に加えるとともに、高齢化が急速に進行する中、近い将来制度自体の維持が困難となることが懸念されるため、65歳以上で新たに重度心身障害者となった者については補助対象外となったことから、対象者から本条例も除く等の必要があるため、条例の一部を改正するものである。

質疑 65歳で新規に重度心身

障害者になった方が受けられるほかの医療費助成制度はあるのか。

答 65歳以上の方でも一定の障害があり、埼玉県後期高齢者医療広域連合の認定を受けた方は、後期高齢者医療制度に加入することが可能となるため、医療費の自己負担額が3割から1割に軽減されることなどが挙げられる。

○行田市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例 (原案可決)

外国人旅行者も含めた道路利用者に分かりやすい道路標識とするため、案内標識の表示方法の変更及び新規案内標識を追加することから、条例の一部を改正するものである。

○行田市市営住宅条例の一部を改正する条例 (原案可決)

母子及び寡婦福祉法の一部改正等に伴い、ひとり親世帯に対する婚姻の有無による不平等な取扱いを是正するため、条例の一部を改正するものである。

契約 災害に備えて

○災害対応特殊消防ポンプ目

動車の取得について (原案可決)

西分署に配備している消防自動車を更新するもので、現在使用している車両は、平成11年に購入したが、導入以来約15年が経過し、老朽化してきたことから、入れかえを行うものである。

なお、取得金額は消費税を含めて316万1千7百円、契約の相手方は東京都千代田区にある長野ポンプ株式会社東京営業所である。

質疑 落札率が高いことについて、市はどう見ているのか。

答 各社の経営判断によるものであり、落札価格及び落札率については、あくまで入札の結果であると考えている。

補正予算 補正総額 6億990万円余り

○平成26年度行田市一般会計補正予算 (原案可決)

各種施策を効率的に推進するため、事業の見直しを行う、その所要経費を補正措置するもので、歳入歳出予算の総額にそれぞれ6億990万4千円を追加し、予算総額を26億8639万8千円とする

ものである。

歳出の主な内容として、民生費では、子ども・子育て支援新制度の実施に向けたシス

テム導入に伴うデータ入力業務の委託料。

衛生費では、耐震改修補強工事を進めている保健センター内のトイレ改修費や、水ぼうそう及び高齢者の肺炎球菌感染症の予防接種費用。

労働費では、求職者を対象にビジネススキル等を習得して、企業等への就職に繋げるための支援事業費。

農業費では、農業経営者に対する農業用機械等の導入への支援事業費。

商工観光費では、田んぼアート終了後の稲わらを利用し、



田んぼアート

古代をテーマにした「わらう」の制作・展示経費。

土木費では、損傷の激しい道路や河川等の維持補修及び新設改良に伴う追加措置。

教育費では、星河公民館の受変電設備の改修経費。

繰越明許費では、土木費関係14事業について、工事発注の平準化を図るため、また、星河公民館の改修事業は、年度内の完了が困難なことから、それぞれ繰り越すものである。なお、これらを賄う財源は、国・県支出金及び前年度繰越金により措置するものである。

決算 7会計の決算を可決及び認定

平成25年度行田市一般会計歳入歳出決算認定については、決算審査特別委員会による閉会中の継続審査としました。

また、水道事業会計並びに6特別会計(国民健康保険事業、下水道事業、交通災害共済事業、介護保険事業、南河原地区簡易水道事業、後期高齢者医療事業)の歳入歳出決算は、所管の常任委員会が審査を行い、原案可決及び決算認定されました。

平成26年9月 定例市議会

提出議案とその結果

※ まち…まちを住みよくする会

(賛成：○ 反対×)

(市長提出議案)

議案 番号	議案名	会派名及び議員名	議決結果	衆 明 21					しんりよく会			新政策研究会			公 明 党		日本共産党		まち ※					
				秋山佳子	新井教弘	梁瀬里司	平社輝男	松本安夫	野口啓造	岩田諱啓	斉藤哲夫	高橋弘行	石井直彦	新井孝義	吉田豊彦	柿沼貴志	小林友明	香川宏行		吉田幸一	二本柳妃子	東美智子	大河原梅夫	栗原二郎
(議案) 第44号	専決処分の承認を求めるについて（平成25年度行田市公共下水道集幹線管渠建設工事委託に関する協定の変更について）		承認	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第45号	行田市教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて		同意	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第46号	行田市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第47号	平成26年度行田市一般会計補正予算（第2回）		可決	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第48号	平成26年度行田市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第1回）		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第49号	平成26年度行田市介護保険事業費特別会計補正予算（第1回）		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第50号	平成26年度行田市水道事業会計補正予算（第1回）		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第51号	行田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第52号	行田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例		〃	○	○	○	○	○		議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第53号	行田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第54号	行田市国民健康保険条例の一部を改正する条例		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	行田市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第56号	行田市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第57号	行田市道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第58号	行田市市営住宅条例の一部を改正する条例		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第59号	災害対応特殊消防ポンプ自動車の取得について		〃	○	○	○	○	○		長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第60号	平成25年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について		継続審査	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第61号	平成25年度行田市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第62号	平成25年度行田市都市計画行田市下水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第63号	平成25年度行田市交通災害共済事業費特別会計歳入歳出決算認定について		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第64号	平成25年度行田市介護保険事業費特別会計歳入歳出決算認定について		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第65号	平成25年度行田市南河原地区簡易水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
第66号	平成25年度行田市後期高齢者医療事業費特別会計歳入歳出決算認定について		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
第67号	平成25年度行田市水道事業会計決算認定について		〃	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×

(請願)

(議決) 第11号	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号	消費税増税の中止を求める意見書提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
第13号	「集团的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し立法化しないこと」を国へ求める意見書提出についての請願	"	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○

(議員提出議案)

(議) 第1号	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
---------	--------------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※ 議長は採決に加わりません。(可否同数の場合は議長裁決となります。)

議員提出議案

意見書 関係機関に送付

○建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書（原案可決）

アスベスト（石綿）被害は、多くの労働者、国民に広がっている。現在も建物の改修・解体に伴うアスベストの飛散は起きており、労働者や住民に被害が広がる現在進行形の公害である。

日本では建設業従事者に最大の被害者が生まれており、その原因として、国が不燃・耐火工法としてアスベストの使用を進めたことによる。

特に建設業では、防災認定にも困難が伴い、企業独自の上乘せ補償もない。国は石綿被害者救済法を成立させたが、極めて不十分で、抜本改正が求められている。

よって、建設アスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施とアスベスト被害の拡大を根絶する対策を直ちにとり、アスベスト問題を早期に解決するよう要望する。

（提出先 衆・参議院議長、

内閣総理大臣、厚生労働大臣、

国土交通大臣、環境大臣）

○手話言語法（仮称）の制定を求める意見書（原案可決）

手話を使う者にとつて、手話は聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーション手段である。

平成18年12月に採択された国連の障害者の権利に関する条約には、「手話は言語」であることが明記されており、平成23年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と規定されている。

よって、手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけて、手話で学べ、自由に手話が使ええる環境整備に向けて法整備が必要であることから、手話言語法（仮称）の制定を求める。

（提出先 衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣）

常任委員会の動き

○審査概要・活動

総務文教常任委員会

当委員会では、付託を受けた2議案について審査を行い、原案のとおり可決しました。

また、請願2件については、不採択としました。

○災害対応特殊消防ポンプ自動車の取得について

問 既存の消防ポンプ自動車と比べ、今回取得予定の消防ポンプ自動車に新たに加わった装置等の特徴、効果は。

答 特に、圧縮空気泡消火装置は、水に一定割合の泡消火剤を混合した泡水溶液に圧縮空気を注入し、発泡させた状態で放水する装置であり、水の使用量を軽減する。

また、泡が対象物に付着することにより、効果的に延焼面を冷却し、再燃防止の効果もある。

○行田市一般会計補正予算について

問 星河公民館及び給食センターの修繕に関し、突発的に

行うのではなく、計画的に予算化し、実施していくことが当然と思うがどうか。

答 市内各公民館の改修、修繕等は計画的に進めているが、今回の受変電設備の修繕は、点検の結果、危険度が高いため急遽修繕を行うこととしたものである。

また、給食センターについては、以前から定期点検等で指摘があり、計画的に修繕を行う予定であったが、食器洗浄機や家用電気工作物等が故障した場合、学校給食の提供が困難となることから、急遽実施することとしたものである。

問 危険な状態の公民館は他にもあるのか。

答 星河公民館以外の公民館は、このような点検による指摘を受けていないが、各施設とも耐用年数の経過や老朽化が進んでいるため、大幅な改修工事を検討するなど総体的に考えていきたい。

問 この施設改修工事により、利用者への影響はあるのか。

答 一定期間使用できなくなるため、星河公民館を通じ、利用者等へ広報を行う。



星河公民館

建設環境常任委員会

当委員会では、付託を受けた6議案及び総務文教常任委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

また、請願1件については、採択としました。

○平成25年度行田市南河原地区簡易水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について

問 簡易水道事業基金が枯渇

した後の対応は。

答 現状、財源不足を補う形で基金からの繰入れを行っているが、残高がなくなった際には、行田市水道事業との統合を検討していく。

○平成25年度行田市水道事業会計決算認定について

問 給水戸数が増加しているにもかかわらず、給水収益が減少している理由は。

答 給水収益の減少については、近年の節水型のトイレや洗濯機の普及、また、昨年は夏の渇水による取水制限実施に伴う、節水への市民意識の高まりが要因と考えられる。給水戸数は増加しているものの、給水人口は減少していることから、収益の減少につながっている。

これはアパートなどの単身世帯が増えていることが要因と考えられる。

○平成26年度行田市一般会計補正予算について

問 橋梁架替工事負担金に関し、武蔵水路の改築に対して、なぜ市が費用を負担しなければならないのか。

答 武蔵水路の橋梁の架け替えにおいては事業主体である

水資源機構が負担する割合として補償幅員が決められているが、市として生活道路整備上の理由や交通安全対策上の理由により、今回対象の聖天木橋、元成田橋、並木橋の3橋に関しては、補償幅員より1・5メートルから3メートルの拡幅を要望しており、本負担金はその市の要望分に対する負担となっている。



武蔵水路・橋梁架け替え工事

健康福祉常任委員会

当委員会では、付託を受けた10議案及び総務文教常任委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

○行田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運

営に関する基準を定める条例について

問 新制度では、申し込み時に保育時間の認定を受けるなど複雑になるが、どのような周知を考えているのか。

答 市報やホームページ等を積極的に活用するほか、市内の各施設等に出向き周知する。利用者のメリットは。

答 保護者の様々な就労形態がある中、それらの需要に応えられるよう施設を運営するとともに、保育ニーズ、教育ニーズに応じて安定的に施設に入所できるようになる。

○平成26年度行田市一般会計補正予算について

問 保健センタートイレ改修の内容は。

答 市民の皆様快適に利用してもらうため、幼児用便器やベビーシートの設置等、全面改修を行う予定である。

問 高齢者肺炎球菌ワクチン接種は、10月1日が国の定期接種になるが、対象者はどのように変わるのか。

答 平成27年3月31日までに65歳を迎える方から100歳までの5歳刻みの年齢区分と、101歳以上となる方が対象

となる。

問 これに関連し、5歳刻みとした理由は。

答 本来は生涯1回の接種でよいが、5年を経すに誤って2回目の接種を受けた場合、副作用が多々見られる傾向があることから、国が設定した。

問 水ぼうそう予防接種も定期接種となるが、接種率を向上させるための対策は。

答 乳幼児健診等において、母子手帳をもれなく確認することにより、接種漏れがないように努める。

【平成26年度の対象者】

年齢	対象者の生年月日
65歳	昭和24年4月2日～昭和25年4月1日
70歳	昭和19年4月2日～昭和20年4月1日
75歳	昭和14年4月2日～昭和15年4月1日
80歳	昭和9年4月2日～昭和10年4月1日
85歳	昭和4年4月2日～昭和5年4月1日
90歳	大正13年4月2日～大正14年4月1日
95歳	大正8年4月2日～大正9年4月1日
100歳	大正3年4月2日～大正4年4月1日
101歳以上	大正3年4月1日以前の生まれの方

肺炎球菌ワクチン予防接種

議会運営委員会

8月26日に9月定例会運営のための委員会を開催し、会期日程、議案及び請願の取り扱いなどを協議しました。そ

の際、一般質問の発言順序をくじにより決定しました。

また、9月3日には議会運営に関する事、さらに19日には追加議案等の取り扱いについて協議しました。

なお、本会議終了後に次期定例会の初日及び日程表（予定）について協議するとともに、9月定例会の総括を行いました。

決算審査特別委員会

議会では、委員7名で構成する決算審査特別委員会を設置し、今定例会で継続審査とした「平成25年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について」を付託しました。

同委員会は閉会中に審査を行い、その結果を12月定例会で報告することとなります。なお、委員の構成は次のとおりです。

委員長 平社 輝男
副委員長 梁瀬 里司
委員 三宅 盾子
委員 松本 安夫
委員 秋山 佳子
委員 吉田 幸一
委員 高橋 弘行

市政に対する

一般質問

9月定例会の一般質問は9月3日・4日・5日の3日間行われ、12人の議員が市政全般に対する諸問題について質問をしました。紙面の都合上、主なものを掲載しました。

なお、詳細については11月下旬発行予定の会議録（市役所市政情報コーナー、図書館及び地域公民館、市議会ホームページなどで閲覧可能）をご覧ください。

政治姿勢

市長の

政治姿勢

高橋 弘行
(しんりよく会)

●デマンド交通

問 高齢者、交通弱者の利便性のため、昨年度行った実証実験の効果とその見解及び今後における運行計画は。

答 高齢者の医療機関への利用が最も多かった一方、休止した循環バス利用者から、運行継続の意見もあった。

市内公共交通のあり方について、導入するか否かを含め、今年度を目安に方向性を見出していきたい。

●忍中学校の校庭の雨水対策

問 現状把握と改良計画は。

答 昨年の忍地区市政懇談会で、現状は把握しているが、昨年の修繕で排水状況が改善したため、現在、校庭改良を行う必要はないと考える。

●財団法人行田市中小企業退職金共済会補助金

問 加盟人数834人、加盟企業105社に、年2100万円補助金を支出する市長の見解と、補助金中止の選択は。

答 市内中小企業の従業員の福祉の増進と雇用の安定を図っているが、今後、支援を行うことを目的とし、補助金の減額も視野に入れ、総合的に協議していきたい。

●観光行政

問 3年間で観光費4億1千万円投入した観光事業の評価

見解及び今後の重点事業は。

答 観光客の数も飛躍的に増え、大きな成果を上げている。

今後、観光施策を力強く推し進め、さらなるにぎわいを創出していきたい。

●成年後見制度

問 認知症、知的障害者、精神障害者の権利を法律的に支援する制度の認識、見解及び成年後見センター等の行政主導での取り組みは。

答 高齢化や核家族化の進展により、必要性は認識している。また、社会福祉協議会が法人後見事業を立ち上げ、家庭裁判所から後見人を受任できる体制づくりを進めている。

政治姿勢

今後の 市政発展の ための意気込み

吉田 幸一
(新政策研究会)

問 工藤市政がスタートし、早7年半という歳月が経過したが、市長は、就任当初から、財政の健全化を最優先課題として掲げ、子どもにツケを回さないスローガンのもと、また、市長自身のマニフェスト

では、安心・安全なまちづくりを重点戦略として掲げ、ぬくもり、うるおい、にぎわいを合い言葉に、各種政策を打ち出すなど、その卓越した手腕には目を見張るものがある。

現在、地方自治体は、生き残りをかけて独自性を発揮しながら真摯に取り組むときであり、強力なリーダーシップにより市政を牽引していかなければならない。

そこで、市長の長年培われた知識と経験、そして卓越した政治手腕を存分に発揮し、これからも行田市の限らない発展に尽力するよう期待するものであり、さらなる市政発展のための意気込みについて決意を伺いたい。

答 平成19年5月に市長に就任して以来、「元氣な行田」を実現するという、市民の皆様との約束を忘れることなく、市民の皆様が目線及び声を活動の原点に置き、徹底した情報公開と聖域なき改革を力強く推し進め、市民生活の向上と行田市のさらなる発展のため、日々全力で市政の運営に邁進してきた。

今後も、明確なビジョンを

持ち、将来を見据えながらしっかりと道筋をつけ、身命を賭して市民の皆様への託に真正面から応えていくことが、私に課せられた使命である。

これまでの経験と情熱を礎に、確固たる決意と情熱を持って、市民の皆様一人一人が豊かな暮らしを実感できる幸せ、活き活きとした元氣な行田の実現を目指し、引き続き市政のかじ取りを担わせていただきたい。

防災・減災

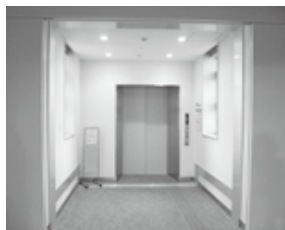
女性の

防災リーダー 育成について

二本柳紀佐子
(公明党)

問 本市の地域防災計画も見直しが行われているが、いざという時に女性の視点に立った地域防災計画になるためにも、女性のための防災研修を開催し、地域の女性を防災リーダーとして育成することで、きめ細やかな気遣いができ、防災・減災の向上力になると思うがどうか。

答 地域防災力を向上する上



市役所エレベーター

●エレベーター内の非常防災用品の設置について
 東日本大震災では、都市部を中心にエレベーターの閉じ込め事故が200件あった。こうした閉じ込めを防止するため、平成21年より地震時等管制運転装置の設置が義務付けられ、地震を感じると自動的に最寄りの階に停止するようにになっている。

静岡県袋井市では、不測の

で女性の積極的な防災活動への参加や意見等を取り入れた防災対策など、女性が担う役割はますます重要であると認識している。このため、自主防災組織における女性リーダーの育成について、県のリーダー育成講座や市が実施する防災訓練等への参加を積極的

に備え、市役所のエレベーター内の隅に、救出を待つことができるよう非常防災用品が備えられているが、本市公共施設のエレベーター内での閉じ込め防止対策は。

答 市役所本庁舎、教育文化センター、総合体育館、総合福祉会館、商工センター及び古代運會館の6施設のエレベーターには、「地震時等管制運転装置」を設置し、利用者が安全に避難できるようにな

っている。万が一、エレベーター内に閉じ込められてしまった場合の対策として、非常防災用品を備えておくことは有効であることから、既に設置済の自治体の状況などを調査し、検討していく。

「病児・病後児保育」の充実を 二宅 盾子 (まちだけんみよこ)

問 行田市の人口減少問題は深刻である。合計特殊出生率は、全国・埼玉県に比較し本市の数字は低い。そのような中、共働き世帯数は増加傾向

にある。働く親の大きな悩みは、幼い子どもの病気である。親が職場を休める環境も十分とは言えず、子育てに対する持続的な負担軽減策が求められている。次世代育成行動計画では、病児・病後児保育事業の充実として、今年度は2箇所予定10人とあり（現状は1箇所8人）今後、需要が見込まれるため、定員の拡大や体調不良児対応施設の拡大を図りたい」としている。

市内1箇所では、地理的にも利用が困難。施設の複数設置を困難とする課題は何か。

また、段階的に施設設置の計画を立てたらどうか。

答 保育士及び看護師の配置や専用スペースの確保、また、医療機関との連携も課題である。

また、稼働率からみると、おおむね満たされている。

問 施設が複数設置でなければ利用は困難。稼働率は、かぜ等の流行時期との関連もあり、定員を超えた人数は制度を活用できていない。単純に定員に対する稼働率で、充足しているとは言えない。病児・病後児保育施設の2箇所では10人の計画は消滅したのか。

答 子育てにあたり、病児・病後児保育の対策は必要であり、今後の検討課題とする。

●福祉団体への私有地等活用
問 障害のある人の労働や生活の場が、十分とは言えない。

福祉団体にに対し、市有地や既存施設等の有効活用を図ることができないものか。また、具体的な要望があった際に可能な限り対応できないか。

答 福祉団体からの相談を含め、利用目的など総合的に勘案した上で対応していきたい。

〔その他の主な質問〕

○学校での集団フツ化物洗口

治水・防災対策 について 大河原 梅夫 (公明党)

問 本市では、集中豪雨や台風が来襲するたびに浸水被害が発生し、藤原町、若小玉、富士見町地域の一部を流れる「長野落し」が度々冠水する。また、隣接する住宅や工場も床下浸水し、駐車場も水没するなどの被害が出ている。この「長野落し」の冠水被害に

遭っている住民の被害を軽減するために、遊水池の建設や排水口の開口を広げるなどの迅速な対策が必要と考えるが、本市の考えは。

答 太井地区で実施した水路の嵩上げを含め、現在、どのような対策が有効であるか、協議、検討している。また、遊水池の建設は、県事業としてさいたま調整池の計画があることから、野通川流域の住宅地や工業団地の浸水被害を軽減することを目的として、実施に向け調整している。

○高齢者の安心・安全

問 高齢者が関わる交通事故、消費者トラブルや振り込め詐欺等の被害が非常に多くなっている。本市は、振り込め詐欺犯からの電話を受けた件数が県内で7番目に多い。

そこで、市内で起きた高齢者に係る交通事故の実態や、振り込め詐欺の被害状況及び被害を少なくするために、どのような対策を考えているか。
答 高齢者が関わった交通事故は、歩行中6件、自転車9件、自動二輪2件、四輪車53件で、四輪車乗車中が全体の75・7%と多く、残念なこと

に2人が亡くなっている。

振り込め詐欺の被害も本年は7月末までに、既に11件、3930万円の被害が発生しており、被害の防止対策として、青色防犯バトロールカーや防災行政無線などで注意喚起の呼びかけや、行田警察署と合同で振り込め詐欺撲滅キャンペーンなどを開催し、注意情報の発信や呼びかけに積極的に取り組んでいる。

地球温暖化 温室効果ガス 排出量削減対策

松本 安夫
(黎明21)

問 本市は、温室効果ガス削減に向け、市内事業者などのような対策を求めているのか。

答 市内事業者に対しては、具体的な削減目標値は求めている。

問 県は規模の大きい581事業所に産業系で6%、業務系で8%の排出量削減を求めている、8割の事業所が達成するなど大きな成果を上げている。県がフットローでできない中小事業者に対し削減を求め

るのが市の責務と考えるが。

答 検討はしており、順次指導という形で取り組んでいくような内容を考えている。

しかし、県のように条例化は難しい状況である。

問 環境配慮に関する市民アンケート調査結果では、市民の環境に関する関心は低いが、意識向上に向けた取り組みは。掲載内容を充実するほか、環境関連のイベントを開催するなど様々な機会を通じて環境意識の向上を図っている。今後とも関係機関と連携して積極的な普及啓発に努めていく。

●市税等の収納業務について
問 高額年金受給者や給与所得のある年金受給者の滞納が増加している。本市には安易に滞納を起さずして土壌があるのか。

答 滞納となる原因はさまざまであると考えられるが、税の公平性の観点からも滞納を放置しておくことはできない。今後、催告や差し押さえを積み重ね、税収確保に努めていく。

問 滞納は、決して得とはならない。高利率の延滞金や差

押え等、もつと周知する必要があるのではないかと。

答 滞納すれば損をするという内容ではなく、高額年金受給者も含めて滞納している方に対しては納税をお願いしている。滞納に対しては、鋭意徴収の努力を行っている。

平和行政 読みやすい 「戦争体験談」 (後編)の発行を 栗原 二郎 (共産党)

問 「戦争体験談」の冊子は既に発行しているが、文章だけではなく、もつと読みやすいものにしてはどうか。また、続編を発行する考えは。

答 戦争体験者から当時のことを聞き取り、記録集(続編)を今年度中に作成する予定であり、当時の市内の様子や生活状況を知ることでできる写真なども掲載し、分かりやすいものにしたい。

●「いきいきサロン事業」
問 高齢者の地域活動として「いきいきサロン事業」が市内各地域で展開されている。この活動の場となる集会所等の

施設の整備、世代間交流などサロン事業の豊かな展開について考えは。

答 活動拠点としての集会所施設の改修については、補助基準に該当すれば活用できる。

また、サロンの活動は参加者が自ら決めるものとなっており、活動内容がさらに充実するよう社協とともに、今後支援に努めたい。なお、サロンへの補助は平成24年度より、社協が行っている。



馬見塚いきいきサロン事業

●補助金における「無駄」
問 同和運動団体の活動に参加した構成員に、市が日当を支出する。なぜ、日当が必要なのか。支出し続ける市の責任が問われる。日当が無ければ活動できないのか。社会常識として、人権に対する認識が深まり、「日当が無くてや

っていけない」、恐らく関係者は

そう思っていると思う。行政がそういう卑劣な見方をしているのではないかと。また、特別な要綱を廃止し、日当を廃止すべきと考えるがどうか。

答 市では、これまで人権問題の解決に向けて各種人権施策に取り組んできた。同和問題の早期解決のため、運動団体が行う啓発事業や研修会の取り組みに対し、日当を含む補助金を交付しており、人権意識の向上などが図れると認識している。

子育て支援 子ども医療費の 無料化は高校卒業 するまで拡大を 大久保 忠 (日本共産党)

問 子育て支援計画策定に伴う市民ニーズ調査では、「市に対する子育ての環境や支援への満足度」との問いに「満足度が低い」、「やや低い」が満足度が高い。などより多くなっている。市長は、子育てナンバーワンのまちづくりを目指すとされているが、この結果をどう認識しているか。

答 調査結果を真摯に受け止

め、更なる子育て支援策の充実を図っていききたい。

問 子ども医療費無料化の拡大は、子育て支援の大きな柱である。県内63自治体のうち、入院はすべての自治体で、通院は62自治体が中学校卒業まで無料となっており、その中でも、4自治体が高校卒業まで無料としている。

市民の願いでもある、安心して子どもを産み育てられるまちづくりのため、医療費無料化は高校卒業まで拡大すべきではないか。また、拡大に伴う費用の試算は。

答 本市の子ども医療費助成制度は、県内においても高水準と認識している。当面は、現状を維持していきたい。試算では、約3400万円となっている。

問 平成25年度決算では、黒字が約14億4千万円、財政調整基金と合わせ約30億円という市民の大切な税金がある。その一部で医療費無料化の拡大が実現できるのではないかと、財政に与える影響は、非常に大きくなるため、現状を維持していきたい。

●保育料の引き下げを

問 来年4月から、子ども・子育て新制度が実施されるが、多くの保護者から保育料が高いという声がある。保育料の引き下げをすべきではないか。

答 新制度における保育料は、今後、試算を行い、利用者に影響が及ばないよう努めたい。「その他の主な質問」

○住宅リフォーム制度の復活

まちづくり
JR行田駅前再整備
多くの方の意見を
取り入れて
梁瀬 里司
(黎明21)

問 JR行田駅前広場周辺の再整備について、今後どのように推進していくのか。

答 再整備に向けた基本計画を本年度策定するため、駅利用者のアンケートや駅前広場の利用実態調査、太井地区及び駅周辺の土地利用者へのアンケート調査を実施している。また、10月から11月にかけてワークショップを開催し、広く意見を取り入れることや、基本計画検討委員会を設置し、審議する予定である。

問 駅前整備の進展は地元にとつては悲願である。地元の多くの方の意見を取り入れてもらいたいと考えるが、太井地区や地元地区に説明会や懇談会などを開催することは考えているのか。

答 多くの意見を取り入れるため、太井地区を対象にしたアンケート調査を実施。説明会等としては、太井公民館でワークショップを開催する。



J R 行 田 駅

●道の駅等の設置について

問 「行田市産業振興ビジョン」には、地域商圏を活かした広域交流拠点の整備が謳われている。本市の情報発信の拠点、交流人口の拡大、商業・農業・観光業など、行田市の発展のため、「道の駅」もしくは「同様の機能を有した交流拠点」の設置が必要と考えるがどうか。

答 国道125号バイパス沿線に道の駅を基本とする多機能な交流施設の設置を想定している。

問 今後、道の駅等の設置についてはどのように考え、進めるのか。

答 考えについては、新たなにぎわいの創出、地域産業の活性化が図られるものと考えている。進め方については、土地利用についての法的な問題や財政面の問題等があるが、長期的な展望に立ち、一つ一つ課題をクリアしながら、実現に向けて取り組んでいく。

市民サービス 水道の漏水の 市民負担・ 境界線について 石井 直彦 (しんりよく会)

問 平成25年9月議会の答弁では、「官民境界付近の水道の漏水について、民地内の修理は利用者負担が適当である。しかし、県内では、メーターまで、あるいは止水栓まで業者負担が大多数である。今後、民地内の漏水修繕は、給水管の適正管理、市民サービ

スの観点から、条件や財政状況を踏まえ検討する。」としていた。

現在、埼玉県内の水道事業体59団体のうち、止水栓、あるいはメーターまでの修理を負担している団体は57団体、官民境界線までの負担は、行田市を含めて2団体のみとなっているが、民地内の修理は、利用者負担が適当であると今でも判断しているのか。

答 本市の水道事業を取り巻く環境は、厳しさを増しており、負担区分の見直しは、今後の社会情勢や財政状況を見据え、総合的に見きわめたい。

●総合公園プール跡地の利用計画について

問 総合公園自由広場の利用が殆ど満杯で、スポーツ施設が不足している今、プール跡地の利用価値は大変高い。

スケジュールと資金計画について、平成25年4月から利用の方向性を検討してきた。

また、平成26年2月に行田市スポーツ推進審議会に諮問し、「審議会の答申後、市として順次整備する、更に資金計画は整備内容が固まった段階で検討する。」とあった。

スポーツ施設が不足し、合併特例債の有効期限も迫る中、期日を決めた計画が必要であるが、平成26年度から28年度まで年度毎の計画は。

答 現在、新たに建設する施設の内容が定まっていらないことから、資金計画については答弁できる段階ではない。

また、合併特例債の活用については、施設の内容が決定した後に検討していきたい。

学校教育 地域の特色を活かした教育について 柿沼 貴志 (新政策研究会)

問 地域の伝統文化や昔話、偉人伝をまとめた冊子を新たに作成し、特色ある「心の教育」に活用すべきと考えるがどうか。

答 グローバル化が進む中、自らの国や地域の伝統、文化について理解を深め、これらを尊重する態度を身につけることが重要である。

教育委員会としては、行田市ならではの教育「ふるさと学」や「寺子屋事業」を推進

し、子どもたちが郷土に誇りを持ち、未来の行田市を担っていくこうとする意欲や態度を育てている。今後この取り組みをより充実していく。

問 全国藩校サミットで、忍藩子ども塾素読教室の生徒と卒業生、埼玉小学校の子どもたちが、漢詩、論語を暗唱し、全国的に大きな評価を得た。この「心の教育」につながる素読を全小・中学校に広めていくべきと考えるがどうか。

答 埼玉小学校が特色ある学校づくりの一環として取り組んでいるものであり、今後、その成果等について各学校に情報提供していく。



藩校サミット行田大会

●市の歴史認識

問 朝日新聞の「従軍慰安婦」誤報を受け、教育委員会として、捻じ曲げられた自虐史観

をおおるこうした歴史認識をどのように捉えているのか。

答 教育委員会としては、中立・公平な立場から個々の政治的な報道について、認識を示すことは適當ではない。

●災害対策について

問 市内における洪水対策の進捗状況は。

答 平成19年度から昨年度までに忍・緑町排水機場の建設や、排水路の嵩上げ工事、排水機場の制御盤の更新など、出水対策の推進を図ってきた。本年度は、向町排水機場、排水ポンプ3号機の増設や、新たな雨水排水ポンプの設置を実施している。

市民サービス 各種証明書の コンビニ交付 東 美智子 (公明党)

問 住民基本台帳カードを利用して住民票の写しなどの各種証明書が、全国のコンビニエンスストアで受け取れる自動交付サービスが全国85市町村で実施され、市民から好評である。稼働時間は、土・日

祝日を含む毎日午前6時半から午後11時まで、手数料は1通200円で、窓口交付よりも安く設定されている。市民の利便性の向上と行政コストの削減をセットで進める事業として、早期導入を望むが、本市の住民基本台帳カードの普及はどのようか。

答 住民基本台帳カードは、平成15年8月から本年8月31日現在で、顔写真のないAタイプが615枚、身分証明書として活用できる顔写真付きのBタイプが2655枚の合計3270枚が発行されており、人口に対する普及率は3.87%となっている。

全体的にカード発行の需要が少ないが、高齢者には、身分証明書として利用できるように、交付を受けている方も多く認識している。

各種証明書のコンビニ交付については、マイナンバー制度に伴う新たな個人番号カードの普及により、本市においても、住民サービスの向上や交付に係る費用対効果等を考慮しながら研究していく。

問 個人番号カードの移行に伴い、2016年に向けての

取り組みは、どのようになっているのか。

答 来年10月ごろに住民登録をしている全国民に対して、個人番号カード交付申請書と通知カードが郵送され、個人番号カード交付申請書に基づき申請することにより、市の窓口において、平成28年1月から個人番号カードが交付される予定である。なお、市報やホームページ等で速やかに周知する。

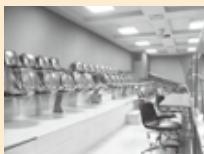
○その他の主な質問 ○代読・代筆支援の充実

市議会を傍聴してみませんか

市議会には、定例会(3月・6月・9月・12月)と、必要がある場合に開かれる臨時会とがあります。

市議会は公開されており、傍聴人受付簿に、住所、氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。(50人分)

議場は市役所の3階にありますので、エレベーターをご利用下さい。



請願

9月定例会に提出された請願は3件で、所管の委員会で慎重に審査を行い、次のとおり決定しました。(敬称略)

○建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願(採択)

提出者 埼玉土建一般労働組合 行田羽生支部

支部長 関口初太郎

○消費税増税の中止を求める意見書提出を求める請願

提出者 行田民主商工会

代表者 中島 吉則

○「集团的自衛権行使容認の閣議決定を撤回し立法化しないこと」を国へ求める意見書提出についての請願

提出者 行田地区労働組合協

議長 三宅 典之

付託先 総務文教常任委員会

12月行田市議会定例会日程表(予定)

12月定例会は11月28日(金)開会予定であり、日程(案)の決定は11月21日(金)予定の議会運営委員会で決まります。

月日・曜日	会 議 内 容
11月28日(金)	本会議 (開会・議案説明)
11月29日(土)	
11月30日(日)	
12月 1日(月)	(議案調査)
12月 2日(火)	本会議 (議案に対する質疑・一般質問)
12月 3日(水)	本会議 (一般質問)
12月 4日(木)	本会議 (一般質問・委員会付託等)
12月 5日(金)	(予備日)
12月 6日(土)	
12月 7日(日)	
12月 8日(月)	建設環境常任委員会・健康福祉常任委員会
12月 9日(火)	総務文教常任委員会
12月10日(水)	(事務整理)
12月11日(木)	(事務整理)
12月12日(金)	(事務整理)
12月13日(土)	
12月14日(日)	
12月15日(月)	(事務整理)
12月16日(火)	(事務整理)
12月17日(水)	(事務整理)
12月18日(木)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、採決・閉会)

※日程は予定であり、変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

議会日誌 (平成26年8月14日～11月12日)

8月

18日 幹事長・代表者会議
19日 議会改革推進委員会
26日 議会運営委員会

9月

1～19日 9月定例会
1・5・19日 幹事長・代表者会議
3・19日 議会運営委員会
5日 議会だより編集委員会
5日 決算審査特別委員会
29日 議会改革推進委員会

10月

1・27・30日 決算審査特別委員会
2日 広島県呉市行政視察来庁
6日 石川県かほく市行政視察来庁
7日 山梨県大月市行政視察来庁
9・10日 全国都市問題
15日 埼玉県市議会議長会第2回役員会
15日 大分県日田市行政視察来庁
22日 島根県松江市行政視察来庁
22～24日 総務文教常任委員会行政視察
(石川県かほく市・富山県氷見市・富山市)
22～24日 建設環境常任委員会行政視察
(愛知県一宮市・瀬戸市・岐阜県各務原市)
22～24日 健康福祉常任委員会行政視察
(岩手県花巻市・奥州市・宮城県多賀城市)
29日 議会だより編集委員会
29日 兵庫県相生市行政視察来庁

11月

4・6・17日 決算審査特別委員会
7日 議会改革推進委員会
7日 山梨県中央市行政視察来庁
11・12日 議会運営委員会行政視察(奈良県奈良市・生駒市)
12日 議会だよりNo.82発行

編集後記

9月市議会には、「子ども・子育て支援新制度」に伴う新たな条例が提案されましたが、国が定めた法律の範囲内での制約があり、国のガイドラインに沿ったものです。「地方のことは地方で」と言われますが、福祉や医療、教育など、国政に左右されることは否めません。

地方議会の在り方は、さまざまな制約がある中で、地域住民に寄り添って、その特性を生かした行政運営を確立させる努力を尽くすことだと思います。

(栗・野・高)

編集委員

委員長 吉田幸一
副委員長 梁瀬里司
委員 三宅 盾子
委員 秋山 佳子
委員 大河原梅夫
委員 東 美智子
委員 高橋 弘行
委員 栗原 二郎
委員 野口 啓造